



第122号

発行日
令和7年
(2025)
6月

熟年

じゅくねん

編集発行
姫路市老人クラブ連合会

(姫路市生涯クラブ)
〒670-0943
姫路市市之郷1006番地8
姫路市すこやかセンター内
TEL(079)223-6855
FAX(079)223-6128



令和7年2月4日 姫路市高齢者芸能発表会 御国野校区 舞踊・合唱

(撮影者 井上 五郎)

楽しい校区登園を



姫路市老人クラブ連合会
副会長 酒見宣子

四月に二十年ぶりに大阪・関西万博が開幕しましたね。

「いのち」・「未来社会」（いのち輝く未来社会のデザイン）がテーマになっています。子供、若者だけでなく、私たち高齢者も楽しみにしています。

人生一〇〇年時代と言われています。私たちが健康に楽しく一日一日を過ごしていく為にどうしたらいいかと考えます時、人と人のつながり、社会の中で小さな事でも人の役に立つことに生きがいを見出す。このようなことが大切なのはと考えます。そして、私たちの老人クラブはその大切な役割をしているように思います。

中でも校区登園は、その役割の中核を担っています。なぜなら、校区の人たちが集まるからです。集まって、教養講座を聴いて、体操をする。その後は楽器演奏や手品など校区独自の出前講座です。落語の日にはお腹を抱えて笑う。友達とおしゃべりしたり、カラオケを楽しんだりして、楽寿園ではお風呂にも入れます。

このように校区登園は、地域の仲間と共に健康で豊かな生活ができる基盤なのです。皆さん、一人でも多く仲間を誘っておいで下さい。お待ちしています。

令和6年度 一般会計決算

| | |
|-------|------------|
| 収入総額 | 25,481,819 |
| 会員収入 | 5,454,540 |
| 補助金 | 13,913,414 |
| 寄付金 | 0 |
| 委託料 | 5,301,974 |
| 雑収入 | 26,194 |
| 繰越金 | 785,697 |
| 支出総額 | 24,410,808 |
| 事務費 | 9,274,845 |
| 会議費 | 156,836 |
| 諸給 | 6,940,673 |
| 費用弁償 | 872,600 |
| 旅費 | 104,060 |
| 需用費 | 1,061,998 |
| 諸費 | 138,678 |
| 事業費 | 14,285,963 |
| 大会費 | 350,039 |
| 教養文化費 | 3,519,296 |
| 地域活動費 | 2,482,006 |
| 研修費 | 471,247 |
| 広報費 | 2,505,133 |
| 調査費 | 44,100 |
| 健康増進費 | 4,914,142 |
| 繰出金 | 750,000 |
| 積立金 | 100,000 |
| 予備費 | 0 |

令和7年度 一般会計予算

| | |
|-------|------------|
| 収入総額 | 24,399,511 |
| 会員収入 | 5,040,000 |
| 補助金 | 12,537,000 |
| 寄付金 | 1,000 |
| 委託料 | 5,729,500 |
| 雑収入 | 21,000 |
| 繰越金 | 1,071,011 |
| 支出総額 | 24,399,511 |
| 事務費 | 10,165,000 |
| 会議費 | 210,000 |
| 諸給 | 7,580,000 |
| 費用弁償 | 888,000 |
| 旅費 | 110,000 |
| 需用費 | 1,225,000 |
| 諸費 | 160,000 |
| 事業費 | 12,889,500 |
| 大会費 | 370,000 |
| 教養文化費 | 2,497,500 |
| 地域活動費 | 1,785,000 |
| 研修費 | 465,000 |
| 広報費 | 2,520,000 |
| 調査費 | 50,000 |
| 健康増進費 | 5,202,000 |
| 繰出金 | 750,000 |
| 積立金 | 100,000 |
| 予備費 | 495,011 |

※単位：円



常任理事会

第2回

報告

3月14日
姫路市
市民会館



- (1) プロック事業・行事の見直し

①歩こう会リプロック内での
分散開催も可能

②プロック活動費等助成金の
見直し

(2) 校区登園

①落語の会の継続

②スマホ講座終了

③二つの新講座設定

・人生会議II元気な時から
考えておきたい医療・介
護のこと

・相続登記について

(3) 事務手続き等の簡素化と省略
化

①友愛訪問提出書類の簡素化

(4) 加入促進事業

①アンケート調査結果報告

②市連合自治会との意見交換

(5) その他

・姫路お城まつり総踊り参加

・個人情報保護強化

| | | | |
|-------|---|------------|-------------|
| 理 | 事 | (新) | 池内 洋二(広峰) |
| | | 監 | 鈴木 義雄(安室東) |
| | | 事 | 撰梅 良三(香呂) |
| | | 事 | 貝塚 將司(香呂南) |
| 理 | 事 | 永年勤続勇退者 | 菅原 好紀(船場) |
| | | | 荻野 寛通(青山) |
| 常 | 任 | 理事 | 元常任理事 |
| 事 | | | 藤井 常隆(飾磨東) |
| | | | 山本 繁樹(大津) |
| | | | 村瀬 浩三(砥堀) |
| | | | 梅田 幸(安富南) |
| 理 | 事 | 林 加代花 田 | 林 中村ツヤ子(八幡) |
| | | 木下 忠雄(御国野) | 大前 善信(安富北) |
| | | 森 純一(八幡) | |
| クラブ会長 | | | |

二十七回 四百一十八名出演

ダンス・体操・踊り・合唱など
若々しい演技で、心は青春

■出演種別団体・出演者数

| | | |
|---------|-------|--------|
| ダンス・体操等 | 十一団体 | 百五十一名 |
| 舞踊・新舞踊 | 六団体 | 五十一名 |
| 民謡 | 二団体 | 十一名 |
| 合計 | 三団体 | 七十三名 |
| その他 | 二十七団体 | 四百一十八名 |

(姫路市健康福祉局・長寿社会支援部・高齢者政策課)

太陽がくれた季節

別所校区 後藤 精子



九月下旬から月一回、日曜日の午後一時から公民館での練習が始まりました。

岩井先生の指導の下、毎回大爆笑しながらも、力強く歌うところ、息を長く伸ばすところ、テンポよく歌うことなど次々と課される課題を克服しつつ、発表会が近づくにつれ、みんなの心が一つになって、気合が入ってきました。

いよいよ本番の日は、晴れの舞台に立つという高揚感がみなぎり団結の絆が感じられました。二番の歌唱が始まると、客席から大きな手拍子。舞台の上の私たちには、温かい会場のエネルギーを感じました。二番の歌唱が始まった時、客席からいっぱいに受けて、合唱することの喜びを味わうことが出来ました。僅か三分間のステージでしたが、感動の場を与えてくださった主催者の方々に感謝申し上げます。

2月4日(火)
市民会館大ホール

銭太鼓

手柄校区 西本 時代

手柄校区は四年に一回参加が回ります。
「次は龜山やで。」月一回の練習中話が出ました。

きよしのズンドコ節

豊富校区 小坂 優季子

今回出演させていただき、感謝しました。またフラダンスを

四年もたつと歳がいっている。やめられた大先輩もあります。足が痛い、正座もしにくい。「正座ができる立つ時が大変や。手もしびれて」と次々出てくる年代の話。私自身も正座もきびしい、肩も痛い。銭太鼓落としたらどうしようと不安が一杯。まずは選曲。新しいのは今から覚えられへん、絶対無理。「きよしのズンドコ節」に決定。舞台が広いから後ろで踊つてもらうメンバーを五人にお願い。法被の色華やかに銭太鼓と踊りのコラボレーション。合うようでは合わない大変さ。ますます練習に熱が入り、本番大成功。歩く姿を見てたら足も痛そう、でもいざ曲がかかると歳とは思われない。「ビシッと決めてすばらしい演技でした」と感動のお言葉、嬉しかった。皆さん一生懸命頑張つてくださり又応援くださりありがとうございました。感謝と合せ、元気で頑張ります。



▲香呂校区 体操



▲峰相校区 フラダンス

披露される校区の数が多いことに驚き、仲間意識から嬉しさを覚えました。私たち豊富校区はフラでは最後の出番、「さあ向かい、「カピリナ」を踊りました。この曲は人と人のつながりや絆を歌っています。今回の発表会はチームの絆が一段と増し、初対面の方とのつながりも広がり、まさに「カピリナ」の曲そのものでした。

この発表会に出演することが決まってからは、チーム全員で熱心に踊りを合わせるとともに、寒い季季の体調管理にも気を付けました。誰も欠席することのないよう心掛け、当日は全員そろって参加出来ました。

出番前の舞台袖では気持ちが高まり、円陣を組んで小声で「アローハ」を……。心を一つにして楽しく踊り切ることが出来ました。何歳になつても趣味や目標を持つことは大切。そのため毎日の生活が笑顔になるよう心掛けたいです。素晴らしい機会をありがとうございました。

特集

校区登園の現在



楽寿園

高浜校区の皆さん



ルンバのリズムに合わせて歌うと自然に体が動きますヨ。

講師 松浦 香織・濱田 静代
中原 孝子

月曜日

ガンバルルンバ体操

教養講座
笑顔で元気!!

講師 小島 恵美

講座の最後の「北国の春」
の合唱が楽しいですよ。



城東校区の皆さん

白浜校区の皆さん



すこやかセンター

脳トレを含む全身フレッシュ体操。

講師 渡辺 尚美

火曜日

すっきり体操

健康リズム体操

講師 土居 直子

腕が上がらなくなる前に
この体操で前鋸筋を鍛えま
しょう。



城南地区の皆さん



月・金・土曜日

主張・随想

飛龍の滝

勝原校区 塚本清子

四方の山々の万縁を車窓より眺める、初夏の爽やかな朝。自宅から約一時間程の距離。たつのを過ぎ上郡を通り佐用に入る。

くねくねと田舎道を走る。案山子たちが「遠い所よく来たね」と迎えてくれてる。龍が滝を登っている様子から「飛龍の滝」とついたそうだ。黒田官兵衛のドラマにも使われた滝だ。

駐車場から五分程、ごろごろの石段を登る。途中、可愛い沢蟹が慌てて隠れんばしている。木漏れ陽が緑と滝を映して眩しい。

くらいに美しい。大段を登る。途中、可愛い沢蟹が慌てて隠れんばしている。木漏れ陽が緑と滝を映して眩しい。

四方の山々の万縁を車窓より眺める、初夏の爽やかな朝。自宅から約一時間程の距離。たつのを過ぎ上郡を通り佐用に入る。

くねくねと田舎道を走る。案山子たちが「遠い所よく来たね」と迎えてくれてる。龍が滝を登っている様子から「飛龍の滝」とついたそうだ。黒田官兵衛のドラマにも使われた滝だ。

駐車場から五分程、ごろごろの石段を登る。途中、可愛い沢蟹が慌てて隠れんばしている。木漏れ陽が緑と滝を映して眩しい。

くらいに美しい。大



未練

網干西校区 重永成子

高齢者ドライバーによる交通事故故が、社会を賑わす中、運転免許証の更新ハガキが届く。今回の更新は、

後期高齢者になる初めての認知症検査や、高齢者講習のお知らせだった。免許証を取得したのは、二十歳のころ。今では夫の送迎が当たり前になっている。

七十五歳を契機に、免許証を返納する気持ちもあるが、未練がましく決断出来ないでいる。

夫と息子たちに自主返納を相談した。「事故のことを考えると、いまから乗るのは危険すぎる。それより家計に毎月二万円をタクシー代として置いておくのはどうか」

納得できるが、夫も返納を考えているようだ。

便利さに慣れた身にとつて、買い物難民になりそうだ。一人暮らしの高齢者が、

「自転車に乗るのが無理になり、娘に迷惑かけるが、品数や種類の多い店で買い物するのは、気分転換になるわ」

当たり前に嬉々とする様子に、私の未来を見た思いがする。

家畜からの恩恵

旭陽校区 前田光晴

家畜は人間の生活に役立ち、飼育され繁殖されている動物です。身近には牛や馬に羊豚、山羊、ニワトリ等がいます。幼少の頃には農家では牛小屋があり、庭ではニワトリを飼っていました。淡い懐かしい思い出です。

牛が引く唐鋤で田を耕して、土を細かく碎く。庭壇尻に乗るのが大好きでした。土の凹凸がもたらす、尻への快感刺激に酔い痴れています。

ヒマラヤ、チベット高地にはヤクがいて、東南アジアでは象が働き、南米アンデス地方はアルパカも重宝されています。



九十二歳の誕生日を迎える

香寺校区 上月長

私は九人兄弟の次男に生まれ、十六歳で就職し、三十七年勤め、民営化により早期退職後、行政に携わる仕事をさせていただきました。遊ぶ暇なく多くの趣味で今日まで楽しんで来ました。九十路の旅は百壽まで夢を咲かせる種をまきたい、あと八年農地四ヘクタールを妻と息子で作りを続けます。

健康を維持するため三十年続けて来たゲートボールを四月から実施します。

方式は、グラウンドゴルフのように、好きな方は一人で参加申し込みをして、抽選でメンバーを決めます。新しいゲートボールはスペークなし、タッチした球はアウトにせず、コート内に散らし打ちして、反則はない、審判は一名とし、番号とゲート通過の宣告をコート内で行う。十名以上申し込みがあれば町内で便利なグラウンドで最低一回実施します。

三十年続けてきた香寺町ゲートボールも無くなり寂しいです。足が痛くても杖を突いてやっています。健康を維持するため参加してください。「気力と努力」。

(兵庫県ゲートボール協会講師)

文艺欄

短歌 小松 カツ子 選

熟年歌壇 — 投稿

燃えながら転がるごとく陽は沈み
唐紅にそまる瀬戸内

ネギ坊主の春を寿ぐこの道を
病院指して自転車をこぐ

春の海寄せては返す波の音
コンクリートの割れ目にホビー

寒空に聖書片手に訪う女の
やわらかき声耳に残れり

春の海寄せては返す波の音
コンクリートの割れ目にホビー

バランダより見る救急へり遠ざかる
音に無事であれよと祈る

老いの身を運び来て乗るエスカレーター
その一段目は遣り過ごしたり

誘はれて霧・梅・海の丘巡る
父を背負つた坂を思ひて

長病みの娘の孤独もわがものと
水仙匂うくらき道ゆく

小 松 カツ子 選

手柄 井上 美幸

病む妻をのこし帰らぬ旅に出づ
年明け終活半ばの短歌友

○路地裏の闇搖さぶりて猫の恋
英賀保 梶 弥生

綾部梅ひしめく程にこぼれ咲き
網干西 矢野カヨ子

○まだ少し残るときめき春の雪
高岡 福光百合子

山桜岩に座りてひとり占め
大津 赤木 繁

短期記憶の衰え始む「さつき聞いた」
孫から言われ又やつたかと

別所 矢島 勉

竜の玉こぼれて弾む石畳
妻鹿 篠原 泰子

○失恋の思ひ出に似て春の雲
飾磨東 室田ひろみ

うぐひすの声聞こえども暗き藪
野里 井上 和子

○雛飾小さき手そつとあられ置き
谷内 角谷 千里

空か虚か何を見つめる雛人形
船津 古澤満寿美

○大枝を景色に見立て壺の梅
大塙 橋本 健司

櫻餅夫との会話とざれがち
高岡 山本美津子

○鐘樓にちちの名前や花供養
森下眞智子

愁ひなくそよ風にゆれ黄水仙
高浜 川谷 越

○麦笛のかすかな音色ふるさと路
高岡 福光 生勇

さきがけの匂ひほのかに枝垂梅
荒川 田中 遼子

○月日すぎ長野の旅の「犀川」を
御国野 岩山志保子

遠足や静かな校舎時止まる
津田 大野たづ子

○散歩せし女今如何にせん
旭陽 山本 治男

点数を競ふボールに桜舞ふ
英賀保 橋本 栄子

○朝空や川面色じぐる土手桜
大塙 釜川 邦子

皆去りし花の宴も終はりけり
広畑 木下 康子

○土匂ふ鉤ひと振りの春田かな
荒川 中村 和子

ひざ痛し紅マドンナの遍路みち
中寺 渡邊 清和

○白梅を一輪添へて香を灯す
広峰 尾池美保子

朝ふくらみ夕に開花や桃の花
津田 中野真理子

○室の津に七曲がりあり山笑ふ
大津 土居 正樹

かに列車カメラ向ける子春らら
中寺 前田眞佐子

○前かごの花束香る春の辻
高浜 吉野那奈子

土手沿ひに土筆もくもく頭出す
香呂南 上月 長

○溶けながら薄氷回り流れゆく
御国野 中村 玉美

季語をよく確認して下さい。
(選者より)

○手柄 井上 美幸

次回は夏の句をお待ちしています。

○勝原 荒堀 治雄

季語をよく確認して下さい。
(選者より)

○大津 田林 清志

季語をよく確認して下さい。
(選者より)

○御国野 久野 正子

季語をよく確認して下さい。
(選者より)

○御国野 三木 敏夫

季語をよく確認して下さい。
(選者より)

○峰相 木下 秀信

季語をよく確認して下さい。
(選者より)

○鈴磨東 志方 早苗

季語をよく確認して下さい。
(選者より)

俳句

中島 保 選

○熟年俳壇 — 投稿 ○印……秀逸

次回は夏の句をお待ちしています。
(選者より)

○大津 田林 清志

季語をよく確認して下さい。
(選者より)

○御国野 久野 正子

季語をよく確認して下さい。
(選者より)

○御国野 三木 敏夫

季語をよく確認して下さい。
(選者より)

○峰相 木下 秀信

季語をよく確認して下さい。
(選者より)

○鈴磨東 志方 早苗

季語をよく確認して下さい。
(選者より)

川柳

編集部選

熟年川柳——投稿

有り難き足場外れし陽の明かり

雪の上ベンギン歩き皆同じ

英賀保 木村 優代

ウグイスが二匹仲よく梅の木に

船津 平石 晴子

手を繋ぎ仲良く見えるも杖代わり

荒川 東 裕

噛み合わぬ老いた一人の長電話

妻鹿 篠原 繁明

治癒のたび熱ざ忘れる馬鹿な奴

勝原 永濱 實

脚弱りテレビ紀行で夢満たす

津田 柳川 浩

夢前川水なし川と改名か

広畑 長澤 長三

耳遠く浮世のうわさ知らぬ顔

高岡 廣瀬 緑

お賽銭願い事いっぱいひ孫の手

高岡 小林ちひろ

池の鯉月もゆつくり泳いでる

水上 田邊 稔一

白菜はお鍋の中で偉そに

旭陽 富士 初美



安室東 黒田 久代



新紙幣対面したがすぐ家出
観桜会花を見ずして肉を焼く
二人から枝葉が伸びて大家族
決めゼリフ君を守ると軽く言う
豪雪の予報ハズレを祈念する
老夫婦耳が遠くて怒鳴りあう
(短歌は三十六首、俳句は九十五句、
川柳は六十句の応募がありました。)

新紙幣対面したがすぐ家出
高岡 安野 素子
英賀保 井上 裕一
網干 津田 良子
大北 良裕
城乾 土居 則男
高岡 廣瀬 義輝
高岡 安野 素子

新コーナー
こんなことやってます

単位クラブの ユニークな活動

中寺校区 渡邊 清和

中寺校区土師シニアクラブは二つの
大クラブがあります。
我がクラブのユニークな活動を紹介
します。
毎週水曜日の「いきいき体操」(約
三十五名参加)。第一水曜日は体操の
後、シニアアカペラを開き、男性約七名
がエプロン姿でコーヒーを女性の出席
者に配ります。おしゃべりをしたりカラオケを歌つたりと大変好評です。
趣味の会をつくり、青春切符の旅を行っています。一昨年は讃岐うどんの
旅で四国へ、今年は正月に初詣に、熱
田神宮と伏見稻荷へ行き、この四月には桜見の旅で尾道千光寺や湖北の海津
大崎へ三班に分かれて行きました。
二十二名、二十四名、三十名と人数
も増えてきました。

土師シニアクラブ農園と名付けて畠
を無償で借り上げ、じゅうが芋や玉ねぎ
を作っています。収穫祭が楽しみです。
又、一般的な活動は、どこもやって
おられるお宮の清掃や花壇の植栽、校
区登園、SPC作戦、春・秋の歩こう
会はもちろん活発にやっています。
当クラブの理念は「楽しいことをや
ろう」、合言葉は、「遠くの親戚より地
元のシニア(老人)クラブ」です。



6月～10月の行事予定

| | |
|----------------------------------|-------------------------------------|
| 令和7年 6月 1日(日) 26日(木) | 機関紙「熟年122号」発行 校区友愛部代表研修会 |
| 7月 10日(木) | ニューリーダー研修会 |
| 8月 8月～2月 21日(木)～24日(日) | シルバーサポート研修会 (各ブロック) 姫路市シニア作品展 |
| 9月 9月～11月 29日(月) 30日(火) | 歩こう会 (各ブロック) SPC作戦 合同研修会 |
| 10月 1日(水) 28日(火) | 機関紙「熟年123号」発行 姫路市長杯高齢者スポーツ大会 |



いつも愛の募金にご協力いただきありがとうございます。

令和6年度 会計決算

収入 4,920,777
支出 4,126,517
繰越 794,260

令和7年度 会計予算

収入 5,049,260
支出 5,049,260

落語の会

■開催日

6月5日(木)・9日(月)

7月3日(木)・17日(木)

素留亭どっぐ▶

すこやかセンター
12時50分～13時40分



編集後記

私たちには自然のなかで生かされ
いますが、「すべての人間に今日があ
る、あることかたき今日である」と
思います。
皆さんからの原稿お待ちしていま
す。
(編集子)

いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桜」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桿」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桿」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桿」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桿」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桿」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桿」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桿」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桿」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桿」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桿」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桿」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桿」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桿」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読ありがとうございます。
いつも、この間新年を迎えたように思
います。ですが、はや半年が来ようとして
います。
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
「散る桜 残る桜も 散る桿」の時
期も過ぎ紫陽花が咲こうとしていま
す。
いつも熟年ご愛読 바랍니다。

シニア作品展

出展作品を募集します

出展資格 満60歳以上の姫路市民 (8月21日現在)

募集作品 絵画、書、水墨画、写真、彫刻、盆栽、陶芸、工芸、ちぎり絵、手芸、絵手紙等。
自己創作で未発表の作品。一人一作品。
一人で搬入可能な大きさのもの。

展示期間 8月21日(木)～24日(日)

展示場所 イーグレひめじ 市民ギャラリー

申込方法 6月30日(月)までに、ハガキ、ファックスまたはメールで、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、8月21日現在の年齢、部門、作品名(ふりがな)、サイズ、展示方法(壁掛・机上の別)、絵画・書・水墨画は作品の形状(軸・額の別)を高齢者政策課まで。

申込先 〒670-8501

姫路市安田四丁目1番地 高齢者政策課

TEL.221-2986 FAX.221-2972

メール▶koreiseisaku@city.himeji.lg.jp

*応募多数の場合は調整させていただくことがあります。

『熟年』の原稿を募集します。

投稿規程

(1)投稿は、会員に限ります。

…校区名・クラブ名・氏名・住所・電話番号を楷書で

(2)活動報告・提言・随想など

…写真やイラストを除いて原稿用紙で400字以内(厳守)

(3)短歌・俳句・川柳・詩など(ジャンルを明示してください)

…1人3首(句)まで(ジャンルごとに一枚のみ)

俳句は、次回「夏の句」です。(雅号不可)

詩は、16字×20行以内

(4)編集の都合で添削し、割愛または次号に回すことがあります。原稿は、すべて返却しません。ご了承ください。

原稿の送り先

〒670-0943 姫路市市之郷1006番地8

姫路市すこやかセンター内

姫路市老人クラブ連合会 事務局「熟年」係

次回締切りは8月1日です。

機関紙「熟年」は、ホームページでもご覧いただけます。

姫路市老人クラブ連合会

URL <http://www.hime-ro-ren.com/>



老人クラブ事務局
執務時間

月・火・木・金 9:00～16:00
水・土・日・祝日 休日